

時の嵐が思い出を奪ってゆく、幼い恋の行方を追って…



Valentina

一九二一年、スペイン動乱前後
小さな村で出逢った
バルチナとロサ、ベベはす
るの時、運命の出来事が…
巨画「バルチナとロサ」の
不滅のラストシーン、完全映画化、
*だれにも忘れぬ、追憶の恋がひとつある。

スイスローザンヌ国際映画祭ユニセフ賞受賞作品

バルチナ物語



*ヨーロッパの妖精…パロマ・ゴメス●主演/原作「暁の記録」●ラモン・J・センデル
*アカデミー賞に三度輝く…アンソニー・クイン/マニラ国際映画祭審査員特別賞…ホルヘ・サンズ/セトウ・セラ/コンチータ・レサ/アルフレド・ルチッティ
監督・脚本●アントニオ・ホセ・ベタンコール/音楽●リズ・オルトラニー●撮影●ファン・ルイス・アンチア●美術●フェリックス・ムルシア●オフエアフィルムズ/カラー作品/スペイン映画/東宝東和提供



夢に遊んだ時代…哀しみも砲火もまだ遠くにいた。

Valentina

烈しい戦渦のさなかでも、なお純粹であり続けた
バレンチナ 11才、ペペ 12才 —— 幼いふたつの魂。

※原作は世界三大ベストセラー！
いま魂を震わせる感動との出会い。

ノーベル文学賞に4年連続推選されたスペインの巨星ラモン・J・センデルの原作を完全映画化した話題作。「風と共に去りぬ」・「誰が為に鐘は鳴る」に続き、愚かな戦いに巻き込まれる人々の、様々な〈愛〉の形、想像もつかない運命の訪れを描いて、



深い感動を呼び起こしています。戦渦の中でさえ、なお純粹であり続けた幼い魂の記録。スペイン北部の牧歌的風景に展開する、あどけない恋の行方、甘くはかない〈ラブ・ストーリー〉には胸迫るものがあります。

※感じてください、ノスタルジアを…
あなたの心のバレンチナを——。

誰の心にも、永遠に忘れられない出会いがひとつはあるでしょう。美しいままで、そっと胸の奥深くしまいこんである、そんな思い出…しかし、出会いには必ず別れが待っています。スペイン動乱の英雄ペペにとっても、若き日にめぐり逢った少女、バレンチナとの初恋時代は素晴らしい日々連続でした。突然の別れにも、いつの日かきっと、また逢えると信じて疑わなかった二人が、それは二度と再びやってくるのではない別れでした…

※国際的なスタッフが結集！
切々と謳い上げる〈恋〉の哀しみ…


1911年、ちいさな村で出逢った少女バレンチナと少年ペペ。忍び寄る戦渦の暗い影もしらず、今日をただ夢中で生きてゆく二人に芽ばえた初恋—それは汚れない美しいものだった、が…俊英A・J・ベタンコール監督が、切々と謳い上げる哀しくも優しい思い出の日々。ヨーロッパの妖精と謳われる＝パロマ・ゴメス主演、名子役ホルヘ・サンズ、「道」の名優アンソニー・クインが素晴らしい演技を見せて、スイス・ローザンヌ国際映画祭ユニセフ賞に輝きました。

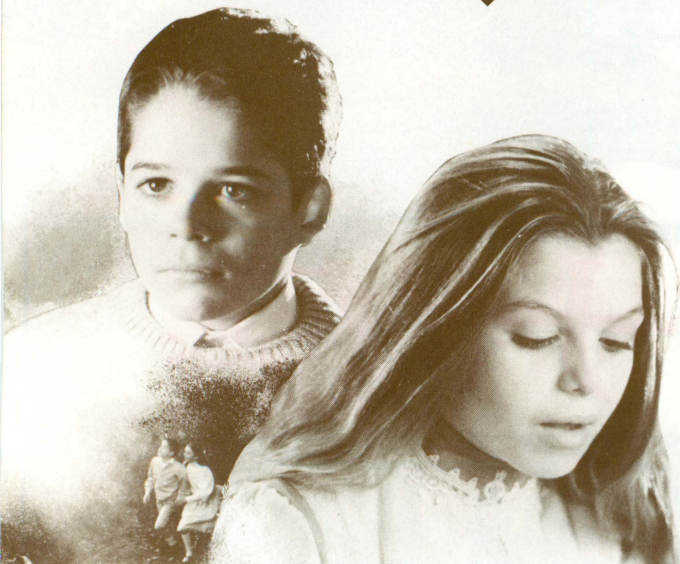


※スペイン映画史上空前の大ヒット!!
絶賛の嵐に包まれて、ついに日本へ——

- バラエティ紙(アメリカ)
映画批評家からも、満場一致の絶賛を得たスペイン映画史上始めて以来の大ヒット作!
- ロンドン・タイムズ紙(イギリス)
偉大なる傑作、スペイン最高のシネマのひとつが、ついに登場した!
- イル・テンポ紙(イタリア)
繊細な配慮と知性が、映像のすみずみまで感じられる、素晴らしい映画だ。
- ル・モンド紙(フランス)
知らず知らずに、ノスタルジックな画面にひきずりこまれ、気がつくと、涙ぐんでいた……

バレンチナ物語

カラー作品/スペイン映画  東宝東和提供



11月2日(土)より 哀のロードショー

伊勢丹前 シネ・タウン
新宿文化シネマ2 (354) 2098